

1 テンミリオンハウス事業 20周年記念式典

(日)



平成11年11月1日にテンミリオンハウス第1号館である「川路さんち」が開設されてから20周年を迎え、スィングホールで記念式典を開催。式典では各テンミリオンハウスの活動紹介のほか、これまで事業を支えてくださった方々に市長から感謝状が贈呈されました。

8 平和の日イベント 戦時中の食体験

(日)



11月24日の「武蔵野市平和の日」に関連して、戦時中の食事を体験するイベントが延命寺で行われ、子どもから大人まで96名が参加しました。戦時中に食されていた「すいとん」を食べながら、戦争資料からわかる当時の様子を聞き、平和について考える機会になりました。

21 サンタさんと親子運動会

(土)



総合体育館メインアリーナでサンタさんと一緒に運動を楽しむ親子向けイベントを開催し、親子188組378名が参加。会場には応援するかけ声や笑い声が絶えず、親子で障害物競走やゲームに取り組み、最後にはサンタさんからプレゼントが手渡されました。

26 歳末特別 環境浄化推進パトロール

(木)



来街者が多くなる年の瀬に、吉祥寺駅周辺の環境浄化特別推進地区を中心にパトロールを毎年実施。今回は160名の市民や地元商店会の方が警察署などの関係機関の方と共に参加し、2班に分かれて約1時間にわたり巡回しました。

[市政の記録 12 ~ 2月]

12月のできごと

1日(日)	テンミリオンハウス事業 20周年記念式典
7日(土)	環境の学校・学生コース開講
8日(日)	平和の日イベント 戦時中の食体験
14日(土)	日本パラバレーボール選手権大会
15日(日)	中学生のお仕事体験講座 「めざせ翻訳家!」
21日(土)	冬休み子どもワークショップ ウィーク
21日(土)	サンタさんと親子運動会
23日(月)	市民と市長のふれあいトーク
26日(木)	歳末特別環境浄化推進パトロール

1月のできごと

1日(水・祝) ~7日(火)	武蔵野吉祥七福神めぐり
9日(木)	エコプラザ(仮称) PRプロジェクト講座開始 ※詳細は特集1へ
12日(日)	消防団出初式
13日(月・祝)	成人式 「未来をひらくはたちのつどい」
18日(土)	防災ボランティア訓練
19日(日)	小鳩・けやき表彰式
25日(土)	「水の学校」文化祭
26日(日)	Sports for All 陸上

2月のできごと

1日(土)	自転車安全利用講習会
1日(土)	武蔵境駅スィング北 暫定駐輪場オープン
8日(土)	市民と市長のふれあいトーク
12日(水)	うと品評会 市民セミナー ~在宅への復帰を支援する 「地域包括ケア病床」
16日(日)	東京都市町村ポッチャ大会
22日(土)~25日(火)	武蔵野地域自由大学 正規科目履修登録受付
24日(月・振休)	ホストタウン ムサシノ滞在制作発表会 ※詳細は次頁下

2 February

1 自転車安全利用講習会 (土)



自転車の交通ルールとマナーを周知し、事故を防ぎ、誰もが安全に自転車を利用してもらうことを目指す講習会をスイングホールで開催。交通安全教育の専門家と武蔵野警察署員による講話に参加者52名が熱心に耳を傾けていました。

8 市民と市長のふれあいトーク (土)



吉祥寺南町コミュニティ協議会と共催で、吉祥寺東部地域における課題や市政全般に関するふれあいトークを開催。当日は、62名が参加し、地域の福祉やまちづくりについて意見を交換しました。

16 東京都市町村ポッチャ大会 (日)



東京都多摩地域の各市町村を代表する57チームによるポッチャ大会が総合体育館で開催。ゲストにリオパラリンピック銀メダリストの廣瀬隆喜選手を迎えデモンstrーションも行われました。武蔵野市代表のチーム武蔵野rossoは第3位と健闘しました。

1 January

12 消防団出初式 (日)



新春の青空のもと、武蔵野市消防団の出初式が都立武蔵野中央公園で開催されました。緊張感漂う消防演技や迫力ある一斉放水の披露があり、火災のない1年を願いました。

18 防災ボランティア訓練 (土)



災害発生後に設置する災害ボランティアセンターを活動拠点としたボランティアの受け入れや役割分担をスムーズに行うための訓練を市民文化会館で実施。当日はボランティア役の方56名に協力をいただき、円滑な受け入れ体制や運営上の留意事項などが確認されました。

26 Sports for All 陸上 (日)



Sports for All 事業としては初めて陸上をテーマに開催。リオオリンピック出場の藤光謙司選手と日本郵政グループ陸上部の鍋島莉奈選手が練習方法などを教えてくださいました。またブラインドマラソンなどの障害者スポーツの体験会も行いました。

【ムサシノ滞在制作発表会】 ルーマニアからアーティストを招聘

武蔵野市は東京2020大会でルーマニアのホストタウンになっています。文化交流・理解の一環として、ルーマニア人アーティストのアンドレア・アレクサンドラ・ペテルフィさんを招聘し、市内をリサーチしながら作品を制作していただきました。コミュニティセンターを制作のアトリエとして活用し、

制作過程を見たり、アンドレアさんとの交流もできるように実施。2月24日には、武蔵野プレイスでトークイベントが開催され、武蔵野市の印象や制作した作品に込められた思いなどについて発表され、訪れた40名がアートを通じてルーマニアへの理解を深める機会になりました。

